

# ま え が き

この履修の手引きは、平成23年度理学部入学者のために、履修規則、履修方法などを説明するものです。みなさんが履修すべき科目は、全学教育科目、専攻教育科目及び総合選択履修方式によって受講する科目です。

2年次前期までは、伊都地区における全学教育科目及び専攻教育日（箱崎地区）に開講される低年次専攻教育科目の履修が中心となります。2年次後期には、主として専攻教育科目及び全学教育科目を履修し、3年次以降は主として専攻教育科目と高年次履修全学教育科目を履修することになります。

総合選択履修方式の科目は、全在学期間を通じて、全学教育科目に加えて、他学部・他学科の専攻教育科目を自分の判断により選択して履修するものです。

どの学科においても、卒業判定以外に、2年次前期末における進級判定、4年次特別研究（又は講究）の履修許可判定が行われます。

この手引きの説明をよく読んで、必要な科目を履修してください。

各科目の内容について、全学教育科目については、「全学教育科目履修の手引き」、専攻教育科目については、「理学部シラバス」を参照してください。「理学部シラバス」は履修についての「2. シラバス」にWebの情報を示しています。

全学教育の詳しい履修方法については、「全学教育科目履修要項」を参照してください。

不明な点があれば、クラス担任、各学科の教務担当教員、理学部学生係あるいは伊都地区全学教育教務係に尋ねてください。

## 4年間の履修関係移行表・進級設定学年

全学教育 (低年次) 1年	2年	全学教育 (高年次) 3年	4年
専攻教育	専攻教育	専攻教育	専攻教育

△  
進級判定

△  
特別研究（講究）履修許可判定

※2年次後期以後の専攻科目や4年次の特別研究（又は講究）を履修するためには一定の条件を満たす必要があります。

## ●履修について

### 1. 履修の手続きと成績確認について

#### (1) 履修の手引き

授業を履修するには履修登録が必要です。履修登録は Web により行います。履修登録期間（各学期毎、掲示により通知されます）中に、学生用 Web システムへログインし、履修登録を行なってください。履修登録のホームページは以下のところですが、学外からでもアクセスすることができます。

<http://www.kyushu-u.ac.jp/student/education/rishu.php>

ここから「履修登録・履修確認・成績照会」をクリックしてください。そうするとログイン画面が現れますので、ユーザ ID とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。ユーザ ID とパスワードに関しては、教育用システムと連携し、同一のユーザ ID とパスワードを使用します。詳細な手続きの方法については、ホームページに「履修申請」、「履修申請内容変更」、「履修確認」のそれぞれについて詳しく書かれている履修手続きに関するマニュアル（HTML 版）と（PDF 版）がありますので、よく読んで各自で理解してください。

なお、学内で利用できるパソコンが設置されている教室等の一覧も同じホームページからたどることができます。

また、学生用 Web システムで動作が保証されている OS 及びブラウザは次のとおりです。

(Windows 系)

動作 OS	Microsoft(R) 社の以下のブラウザが動作する OS
Web ブラウザ	Microsoft(R) Internet Explorer Version 5.5 SP 2 以降
	Netscape(R) Netscape 6.2 以降

(Macintosh 系)

動作 OS	Mac OS 9
Web ブラウザ	Netscape(R) Netscape 7.0

動作 OS	Mac OS X
Web ブラウザ	Netscape(R) Netscape 7.1

以上でよく分からないところがあれば、理学部等学生係で尋ねてください。

#### (2) 履修の手続き期間

履修登録の期間は各学期毎に設けられ、掲示により通知されます。履修登録期間を過ぎると登録ができなくなりますので、各自で責任をもって、定期的に掲示板をチェックし、必ず期間中に登録するよう注意してください。

また、履修登録期間終了後、履修登録確認・追加修正期間が設けられます。訂正等を行なう場合も、この期間を過ぎると一切変更等ができなくなりますので、必ず確認期間に責任をもって各自の登録内容を確認してください。

### (3) 成績の確認

成績の確認も Web からできます。履修登録と同じホームページから「履修登録・履修確認・成績照会」をクリックしてください。なお、当然ながらユーザIDとパスワードによる認証が必要です。

専攻教育科目については、成績確認の可能な期間を設けていませんので、随時、閲覧可能です。

全学教育科目については、成績の確認期間が定められていますので、その期間内に確認をしてください。

また、成績の訂正期間が定められていますので、訂正等を申し出る際には、必ずその期間内に申し出てください。

詳しくは、掲示板で周知しますので、確認してください。

### (4) 履修登録における注意事項

毎学期、その学期で開講される科目等について、登録に関する注意書が、理学部のシラバスのホームページトップ画面 (<http://syllabus.sci.kyushu-u.ac.jp/syllabus/index.html>) において通知されますので必ず毎学期確認するようにしてください。

履修登録用の画面で、他学部の科目を登録する際には、他学部のページへ行き、虫メガネマークをクリックして検索画面を出してから、科目名を入力して検索を行なってください。(他学部の授業科目は時間割形式では表示されていません。)

## 2. シラバス

シラバスとは授業の設計図です。授業毎に、授業の目的、授業の概要、授業の進め方、学修目標、評価方法・基準、教科書・参考書などを記したものです。これによってその授業を事前にイメージすることができます。

理学部のシラバスは次のホームページに掲載されていますので、Webブラウザを用いて閲覧してください。

なお、理学部のシラバスは理学部のホームページ

<http://www.sci.kyushu-u.ac.jp/>

からもたどることができます。

そこで→「授業について」→「講義内容(シラバス)」→「理学部」を選択すると、各学科毎に「教育理念」, 「科目一覧」, 「前期時間割」, 「後期時間割」が並んでいます。「教育理念」には各学科の教育理念が示されています。「科目一覧」には各学年・学期に担当されている科目の一覧が表示されます。「時間割」には各時間毎に科目名、担当教員、教室が示されています。「科目一覧」や「時間割」にある科目名をクリックすると各科目のシラバスが掲示されます。内容をよく読んで、その科目の目的や学修目標などを理解してください。

# 物理学科（物理学コース）

## 【卒業要件：127 単位】

1. 全学教育科目は、卒業要件として(イ)～(ホ)に従い、53 単位以上を修得する。

(イ) 共通コア科目、コアセミナー、文系コア科目、理系コア科目、少人数セミナー、総合科目では、以下の条件に従い、16 単位以上を修得する。

共通コア科目の「人間性」、「社会性」から4 単位を修得する。

コアセミナーから「コアセミナー」2 単位を修得する。

文系コア科目から3 科目6 単位以上を修得する。

理系コア科目から2 科目4 単位以上を修得する。

少人数セミナー・総合科目の中から1 科目2 単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目では、第1 外国語6 単位以上、第2 外国語4 単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」2 単位を修得する。

(ニ) 理系基礎科目では、以下の条件に従い、24 単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目7 科目13 単位を修得する。

なお、次の推奨科目を履修することが望ましい。

「数理統計学」、「無機物質化学」、「有機物質化学」

個別基礎科目では次の推奨科目を履修することが望ましい。

「微分積分統論」、「基礎数学演習Ⅲ」、「熱と波動論基礎」、「現代物理学入門」

(ホ) 情報処理科目では、1 単位以上を修得する。

「情報処理演習Ⅰ」1 単位を履修することが望ましい。

2. 専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて70 単位以上を修得する。

a) 必修科目28 単位

b) 選択科目（教員及び学芸員の資格のための科目を除く。）から42 単位以上

3. 理学部の卒業要件として、上記1 及び2 の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4 単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2 単位以上は3 年次以降で修得することが望ましい。

※自学科の科目及び「教員及び学芸員の資格のための科目」は、総合選択履修には認められない。

4. 進級及びコースへの配属について

第2 学年第2 学期に進級するためには、進級判定時に全学教育科目及び低年次専攻教育科目を合わせて40 単位以上を修得しておかなければならない。

ただし、全学教育科目のコアセミナー（2 単位）は必ず修得しておかなければならない。

第2 学年第2 学期に進級していなければ、第2 学年第2 学期以降に開講される専攻教育科目は履

修できない。なお、第2年次第2学期に進級した者は、志望と成績によって物理学コースもしくは情報理学コースに配属される。おって、進級判定の時期は2年次の9月とする。

#### 5. 「物理学特別研究Ⅰ」及び「物理学特別研究Ⅱ」の履修について

「物理学特別研究Ⅰ」及び「物理学特別研究Ⅱ」を履修するためには、4年次以降の年度の始めまでに専攻教育科目の必修単位28単位のうち「物理学特別研究Ⅰ」及び「物理学特別研究Ⅱ」を除く全て(20単位)を修得しておかなければならない。

#### 6. 他の学科、学部の専攻教育科目の履修について

物理学コースは第二学年第二学期以降に開講される情報理学コースの専攻教育科目(教員及び学芸員の資格のための科目を除く。)は選択科目として認める。

なお、理学部の他学科及び他学部の専攻教育科目は、審議の上、選択科目として認めることがある。

認定希望のある場合は学科に届け出ること。

## 物理学科(情報理学コース)

### 【卒業要件：127単位】

1. 全学教育科目は、卒業要件として(イ)~(ロ)に従い、53単位以上を修得する。

(イ) 共通コア科目、コアセミナー、文系コア科目、理系コア科目、少人数セミナー、総合科目では、以下の条件に従い、16単位以上を修得する。

共通コア科目の「人間性」、「社会性」から4単位を修得する。

コアセミナーから「コアセミナー」2単位を修得する。

文系コア科目から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目から2科目4単位以上を修得する。

少人数セミナー・総合科目の中から1科目2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」2単位を修得する。

(ニ) 理系基礎科目では、以下の条件に従い、24単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目7科目13単位を修得する。

なお、次の推奨科目を履修することが望ましい。

「数理統計学」、「無機物質化学」、「有機物質化学」

個別基礎科目では次の推奨科目を履修することが望ましい。

「微分積分統論」、「基礎数学演習Ⅲ」、「熱と波動論基礎」、「現代物理学入門」

(ホ) 情報処理科目では、1単位以上を修得すること。  
「情報処理演習Ⅰ」1単位を履修することが望ましい。

2. 専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて70単位以上を修得する。

a) 必修科目16単位

b) 選択必修科目及び選択科目（\*印の授業科目を除く。）から54単位以上  
ただし、選択必修科目24単位以上を含むこと。

3. 理学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

※自学科の科目及び「教員及び学芸員の資格のための科目」は、総合選択履修には認めない。

4. 進級及びコースへの配属について

第2学年第2学期に進級するためには、進級判定時に全学教育科目及び低年次専攻教育科目を合わせて40単位以上を修得しておかなければならない。

ただし、全学教育科目のコアセミナー（2単位）は必ず修得しておかなければならない。

第2学年第2学期に進級していなければ、第2学年第2学期以降に開講される専攻教育科目は履修できない。なお、第2年次第2学期に進級した者は、志望と成績によって物理学コースもしくは情報理学コースに配属される。おって、進級判定の時期は2年次の9月とする。

5. 「情報科学講究」の履修について

「情報科学講究」を履修するにあたっては、あらかじめ選択必修科目から21単位以上を修得しておかなければならない。

6. 「情報科学特別研究」の履修について

「情報科学特別研究」を履修するためには、あらかじめ他の必修科目6単位及び選択必修科目から21単位以上を修得しておかなければならない。

7. 他の学科、学部の専攻教育科目の履修について

情報理学コースは、第2学年第2学期以降に開講される物理学コースの専攻教育科目（教員及び学芸員の資格のための科目を除く。）は選択科目として認める。

なお、理学部の他学科及び他学部の専攻教育科目は、審議の上、選択科目として認めることがある。認定希望のある場合は学科に届け出ること。

履修細目一覧 (理学部：物理学科)

区分	授業科目	最低修得単位数		総合選択履修方式	合計	受講キャンパス	
		科目区分毎の単位数	数				
全学	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位		伊都 箱崎	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位			
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位		伊都	
		思想史(2)	人文地理学(2)				
		科学史(2)	教育学(2)				
		古典の世界(2)	心理学(2)				
		文学(2)	政治学(2)				
		芸術(2)	法学(2)				
		先史学(2)	日本国憲法(2)※4				
		歴史の認識(2)	社会学(2)				
		歴史と社会(2)	経済学(2)				
	理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)	図形科学Ⅰ(2)	10単位		伊都	
		生物科学Ⅱ(2)	図形科学Ⅱ(2)				
		生物科学Ⅲ(2)	図形科学Ⅲ(2)				
		数学Ⅱ(2)	情報科学Ⅰ(2)				
		数学Ⅲ(2)	情報科学Ⅱ(2)				
		物理学Ⅱ(2)	情報科学Ⅲ(2)				
物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)					
化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)					
化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)					
地球科学Ⅱ(2)							
地球科学Ⅲ(2)							
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位) ※1					
総合科目							
高年次 教育科目	課題科目				箱・病・大・伊		
	主題科目 社会連携科目						
教育科目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	2ヵ国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2		4単位 ※3	127単位	
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)					
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)					
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)					
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)					
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)					
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)					
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)					
		言語文化自由選択科目					
		言語文化古典語科目					
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位			伊都 箱・伊		
文系基礎科目							
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 力学基礎・同演習(3) 電磁気学(2)	13単位		伊都		
		自然科学総合実験(2) 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 数理統計学(2) 無機物質化学(2) 有機物質化学(2)	24単位				
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 微分積分学(2) 基礎数学演習Ⅲ(1) 熱と波動論基礎(2) 現代物理学入門(2)					
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 情報処理演習Ⅰ(1)	1単位				
		情報処理科目					
	個別基礎科目	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 微分積分学(2) 基礎数学演習Ⅲ(1) 熱と波動論基礎(2) 現代物理学入門(2)					
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 情報処理演習Ⅰ(1)	1単位				
		情報処理科目					
		情報処理演習Ⅰ(1)	1単位				
		情報処理科目					
専攻教育科目	他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊		
専攻教育科目	低年次(第1学期) (第2学期) (第3学期)	物理学入門, 物理学特別講義A(物理学最前線) 力学, 熱力学, 計算機科学Ⅰ, 物理学基礎演習 解析力学・同演習, 物理数学Ⅰ, 計算機科学Ⅱ	70単位		箱崎		
	第4学期以降						

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 第1外国語、第2外国語の履修については、全学教育科目履修要項10～11頁(「(7)言語文化基礎科目」)を参照のこと。

※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。

※4 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」を修得すること。

## 専攻教育

物理学科には物理学コースと情報理学コースがおかれている。学生は2年次後期から、志望及び入学後の成績に基づきどちらかのコースに配属される。

**物理学コース：**物理学は自然界にあるいろいろな物質や現象の実態を明らかにし、それらを支配している普遍的な法則を探求する学問である。本コースは物理学の深さと広さに基づいた自然観のもとに柔軟な思考ができる人材を育成することを目標としている。自然の深さとそこに横たわる根源的な法則の探求を目指す分野と、物質世界の広さの中に普遍的な理解を目指す分野とが相互に密接な連携を保ちながら、理論と実験の両視点から物理学の最前線を実感させる教育・研究の体制が整えられている。ますます対象を広げていく自然科学の新しい息吹を肌で感じながら、創造的な発展の基礎を学ぶことができる。

**情報理学コース：**情報科学は、自然界におけるデータや現象をはじめとして、人間の知性や感性の源泉である情報を基礎科学として探求する学問である。本コースでは、新しい基礎科学としての情報科学を体系的に教育することを目標としている。コンピュータの基礎理論である情報論理学や計算理論を始めとして、各種のデータから科学的な知識を発見するための基礎理論等、情報科学の基礎と最前線を反映した教育・研究の体制が整えられている。ますます進展しつつある高度情報化社会において必要とされる情報科学的視点と方法論を培いながら、情報科学の創造的な発展の基礎を学ぶことができる。

### 物理学コース

#### 専攻教育科目配当表

授業科目		毎週の時間数(又は回数)								単位数	
		第一学年		第二学年		第三学年		第四学年			
		第一期	第二期	第一期	第二期	第一期	第二期	第一期	第二期		
必修科目	解析力学・同演習			4							3
	量子力学Ⅰ・同演習				4						3
	電磁気学Ⅰ・同演習				4						3
	統計力学Ⅰ・同演習				4						3
	物理学総合実験						(8)				(8)
	物理学実験					4	4				4
	化学物理学実験					2	2				2
	生物物理学実験					2					1
	地球物理学実験					2					1
	物理学特別研究Ⅰ								(4)		4
物理学特別研究Ⅱ									(4)	4	
計											28



授業科目	毎週の時間数(又は回数)								単位数
	第一学年		第二学年		第三学年		第四学年		
	第一期 学期	第二期 学期	第一期 学期	第二期 学期	第一期 学期	第二期 学期	第一期 学期	第二期 学期	
物理学入門	2								2
物理学特別講義A (物理学最前線)	2								2
力学		2							2
物理学基礎演習		2							1
熱力学		2							2
計算機科学Ⅰ		2							2
物理数学Ⅰ			2						2
計算機科学Ⅱ			2						2
連続体力学Ⅰ				2					2
物理数学Ⅱ				2					2
物理数学演習				2					1
基礎物理実験学・同実験				4					2
連続体力学Ⅱ					2				2
量子力学Ⅱ					2				2
電磁気学Ⅱ					2				2
統計力学Ⅱ					2				2
物性物理学Ⅰ					2				2
物理実験学					2				2
物理学特別講義Ⅰ (最先端物理学)					2				1
原子分子の量子力学						2			2
特殊相対性理論・電気力学						2			2
物性物理学Ⅱ						2			2
原子核物理学						2			2
数値計算法							2		2
物理学ゼミナール							2		2
量子力学Ⅲ							2		2
一般相対性理論							2		2
物性物理学Ⅲ							2		2
物理学総合演習							2		1
物理学特別講義B							2		2
電磁流体力学								2	2
宇宙物理学								2	2
相転移の統計力学								2	2
素粒子物理学								2	2
原子核・高エネルギー実験学								2	2
物理学特別講義C (生物物理学)						△2(隔年)		△2(隔年)	2

注) △印の授業科目はいずれかの学期に修得すればよい。

授 業 科 目		毎 週 の 時 間 数 (又 は 回 数)								単 位 数
		第 一 学 年		第 二 学 年		第 三 学 年		第 四 学 年		
		第 一 学 期	第 二 学 期	第 一 学 期	第 二 学 期	第 一 学 期	第 二 学 期	第 一 学 期	第 二 学 期	
選 択 科 目	物理学特別講義 D	2								2
	物理学特別講義 E	2								2
	物理学特別講義 F	2								2
	物理学特別講義 G	2								2
	物理学特別講義 H	2								2
	物理学特別講義 I	15時間								1
	物理学特別講義 II	15時間								1
	物理学特別講義 III	15時間								1
	物理学特別講義 IV	15時間								1
	計									80
教員及び学芸員の資格のための科目	物理学総論				2					2
	分子論				2(隔年)					2
	化学通論					2				2
	地学通論				2					2
	生物学通論				2					2
	博物館概論					2				2
	博物館経営論				1					1
	博物館資料論					2				2
	博物館情報論					1				1
	視聴覚教育メディア論				1					1
	植物学標本実習					集中				2
地球惑星科学標本実習					集中				2	
計									21	

注) 物理学実験, 化学物理学実験, 生物物理学実験, 地球物理学実験は合せて物理学総合実験と実施するので, 原則としてこれら4科目は同時に前後期引き続いて履修しなければならない。